

令和6年度 武生東高等学校学校 学校関係者評価書

- (問) ① スクールプランの重点目標についての成果と分析内容は適切ですか。
② 成果と課題を踏まえた令和7年度に向けた改善策・向上策は適切ですか。

(意見を聞いた方)

大熊彰子 PTA会長 山本典孝 PTA副会長 砂田竜二 PTA副会長

(意見欄)

重点目標1:教育課程・学習支援

①主体的・対話的学びが深められて点について目標以上の成果が出たことは喜ばしい。社会に出ると、話し合う力・説明し書く力が求められるとともに、社会や理科の教科から得る知識や考え方が必要となってくることから、この点を強化することをお願いしたい。

①適切。

①生徒アンケート結果より、授業の内容について充実していると思っている生徒の割合が多く、良い評価が出来ると思う。

②タブレット活用により、調べ方やまとめ方が深まり、充実した学習に繋がることが期待できる。タブレット重視にならないよう配慮していただき、書く力・書き取る力の強化もお願いしたい。

②英語以外の授業にも対話表現することを取り入れるとよい。

②今後の向上策として深い学びを図るような新たな取り組みも検討されるようですので、今後も充実した授業の継続に期待する。

重点目標2:進路支援

①1年次から将来の目標を見据えた活動に取り組み、目標を明確にしたうえで3年次に進んでいることは、自ずと円滑な進路決定や早くからの個々に応じた進路支援に繋がっていると思われる。

①適切。

①アンケート結果より、本年度より新しく始めた課外教育活動に対し戸惑いを感じた生徒がいるように思いましたが、将来の目標に向けての指導体制に充実を感じる生徒の割合が多く、良い評価が出来ると思う。

②将来の目標を固めるのと同時に、進路(進学)先の研究にも取り組める工夫もあるとよい。大学名等で進路を決めるのではなく、どこで何をどのように学びたいのかまで固められるのが理想。

②県内の限られた大学数、学科数の中、生徒の進路選択肢は狭くなりがちである。職業系高校と同様に企業合同説明会へ参加するなどの活動を取り入れるのもよい。

②新しく始められた課外教育活動について一層の充実につながる取り組みに期待する。

重点目標3:生徒支援

①PTA活動を通して、武生東高校生の実直で優しい人間性の良さを実感している。また、教職員の方々の十分な配慮と対応により安心安全な学び舎となっていることに感謝申し上げる。稀に、生徒の幼さが現れたりもするが心底から反省したことを行動で示す姿は、武生東の誠実性かと思う。

①適切。

①今年度行った校則の見直しに向けての生徒会役員との意見交換会は、生徒に寄り添った生徒支援と感じ、高く評価できると思います。結果は課題を残す事となりましたが、日頃より生徒へきめ細やかな指導を行っていただき保護者はありがたく感じているところであり、アンケート結果からも充実した学校生活に向けて指導をされていると、よい評価が出来ると思う。

②前例踏襲に拘らず、ここ最近までの状況を踏まえて臨機応変に対応しようとする姿勢を評価したい。特に、生徒の安全確保を最優先に考え、体育祭の屋内開催は英断である。

②社会情勢にそぐわない校則がある。生徒に寄り添う形で校則改定を支援する必要があると思う。

②安全な学校生活への配慮もされていることから、今後も引き続きの指導をお願いしたい。

重点目標4:グローバル、サイエンス、SDGs

①地域課題に密着した探究活動は、武生東ならではの取り組みだと思う。特に、越前市役所との連携は、生徒にとっても緊張感のある活動であり、今後も引き続き連携を強めていただきたい。

①適切。

①探究活動については、他団体への参画する取り組み(具体事例:本校生徒が地元伝統工芸品の職人や越前市と協力し周知活動に取り組むなか、市子連ジュニアリーダーとして地元小学生に対し工芸品の紹介と体験活動を指導した)を実際に見る機会があり、生徒の探究活動に対し積極的な取り組みをしていると大きく感じた。また、姉妹校との交流活動においては、それぞれの生徒一人一人に寄り添った配慮がなされ、充実した交流活動が出来たと思い、今年度の取り組みも高く評価できると思う。

②武生東といえば「国際＝英語」のイメージが根強い。英語が好き(得意)な中学生には魅力的だが、反面、英語が嫌い(苦手)な中学生には敬遠される傾向がある。近年、小学校での英語教科化に伴い、中学で英語嫌いになる子が多くなる傾向があることから、「武生東＝国際」ではなく、「武生東＝探究」のイメージ強化に注力してはどうか、提案させていただく。

②越前市と連携した探究活動は、長年の取り組みで成果を出している。一方マンネリ化のきらいもあり方向性をよく練る必要があると思う。

令和6年度 武生東高等学校学校 学校関係者評価書

- (問) ① スクールプランの重点目標についての成果と分析内容は適切ですか。
 ② 成果と課題を踏まえた令和7年度に向けた改善策・向上策は適切ですか。

(意見を聞いた方)

大熊彰子 PTA会長 山本典孝 PTA副会長 砂田竜二 PTA副会長

重点目標5:外部との連携

①オープンスクールだけではなく積極的に中学校での学校説明会を開催するなど、中学生に直接アプローチすることは今後も重視していただきたい。HPからの情報発信も丁寧に行われているが、もう少し他校にはないコンテンツの企画を期待したい。

①オープンスクールや探究活動において充実した取り組みがなされ、高く評価できると思う。ホームページは見やすく興味が持てる内容になっている。

②生徒会だけでなく、各部活からの情報発信も可能ではないか。特に、放送部は全国大会での実績もあり、他校にはない武生東の強みの1つとして中学生にアピールできると思う。

全体総括

・探究活動の充実度、生徒の人間性、教職員の柔軟な指導力など、どれを取っても、他校には勝るとも劣らないと確信した。是非、中学生とその保護者に対して、武生東の魅力と凄さを斬新な手法で強烈にアピールしていただきたいと強く願う。

・大学進学が全てではないが、1年次から学校推薦型選抜や総合型選抜の受験対策に取り組める環境が整えば、武生東の強みの1つになると考える。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

現在の取り組みが概ね高く評価されている。武生東の強みをさらに磨き、高めるため、以下のように取り組みを進める。

1. 教育課程・学習支援

・タブレット活用を充実させるとともに、小論文や記述式問題対策の重点化をさらに進める。
 ・授業での対話表現の充実を図り、発信力を鍛える。

2. 進路支援

・大学卒業時の就職を見据えた進路研究を充実させる。
 ・企業探究訪問をさらに充実させ、地元企業を含め、大学卒業後の選択肢を広げる。

3. 生徒支援

・生徒と教員、保護者による協議を重ね、これまで行ってきた校則改定をさらに進める。
 ・体育祭の屋内開催のような柔軟な対応を今後も継続する。

4. グローカル、サイエンス、SDGs

・英語・国際理解教育の魅力を打ち出しつつ、「武生東＝探究」のイメージの強化を図り、魅力向上に努める。
 ・探究活動の地域課題をアップデートし、地域に展開する探究活動をさらに高める。

5. 外部との連携

・学校説明会を増やし、中学生や保護者への直接アプローチを強化する。
 ・放送部など特色ある部活動の情報発信を活用し、学校の魅力を発信する。